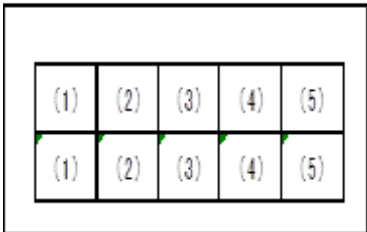


2021 年 1 月 14 日
日本郵便株式会社

特殊切手「海図 150 年」の発行

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 衣川 和秀）は、1871（明治 4）年、わが国が単独で近代的技術をもって、海洋調査から海図作製までを一貫して行う本格的な水路業務が開始され、2021 年に 150 年の節目の年を迎えることを記念して、特殊切手「海図 150 年」を発行します。

1 発行する郵便切手の内容

名 称	海図 150 年
発 行 日	2021 年 3 月 12 日（金）
種 類	84 円郵便切手
切 手 画 像	別紙のとおり
シ ー ト 構 成 ・ 意 匠	 (1) 海図第一号「りくちゅうのくにかまいしこうのず陸中国釜石港之図」（部分）と測量艦「春日」 (2) 船舶によるマルチビーム測深調査 (3) 道具（ろくぶんぎ六分儀、そくえん測鉛、さんかん三杆） (4) 航空機によるレーザー測深調査 (5) 現在の海図「釜石港」（部分）と大型測量船「平洋」
売 価	1 シート 840 円
小切・印面寸法	縦 38.5 mm×横 28.0 mm
シ ー ト 寸 法	縦 120.5 mm×横 168.0 mm
切手デザイン	貝淵 純子（切手デザイナー）
版 式 刷 色	オフセット 6 色
発 行 枚 数	500 万枚（50 万シート）
販 売 場 所	・ 全国の郵便局など ・ 「郵便局のネットショップ」^{（注）} ・ 銀座郵便局での郵便振替による通信販売

2 発行する郵便切手のデザインについて

(1) 海図第一号「りくちゅうのくにかまいしこうのす陸中国釜石港之図」(部分)と測量艦「春日」

日本が単独で近代技術をもって作製された最初の海図は、1872(明治5)年に刊行しました。

測量艦「春日」は、この測量に従事した船舶で、石炭を燃料とする蒸気船でした。

(2) 船舶によるマルチビーム測深調査

音波を使用した船舶による測深調査の様子です。船底から海底に向けて音波ビームを出し、往復時間により水深を計測します。多数のビームを出すことにより一度に多数の水深を得られます。

日本では1983(昭和58)年に初めて導入されました。

(3) 道具(六分儀、測鉛、三杆)

明治初期から昭和期まで測量や製図に用いられた道具類です。

- ・六分儀：2点間の角度を測ります。

- ・測鉛：ロープを付けて海中に垂らして水深や海底の地質を調べます。

- ・三杆：陸上の2カ所の目印の間を六分儀で測った角度を用いて、海上の船舶位置を図上に記入します。

これらの道具を用いて手間と時間をかけて一つ一つ水深を測定し、最初の釜石港の海図は作製されました。

(4) 航空機によるレーザー測深調査

レーザー光を使用した航空機による測深調査の様子です。海面と海底でそれぞれ反射した光を捉え、その差から水深を計測します。船舶が航行困難な浅い海域を迅速に調査することができます。

日本では2003(平成15)年に初めて導入されました。

(5) 現在の海図「釜石港」(部分)と大型測量船「平洋」

2020年に刊行した、釜石港の最新の海図です。

「平洋」は、日本唯一の海図作製機関である海上保安庁に所属する最新の大型測量船です。2020年に就役しました。

3 その他

通信販売などの販売概要、郵趣のための記念押印サービスについては、弊社 Web サイトでお知らせします。

【注釈】

(注)「郵便局のネットショップ」への掲載は、2021年3月12日(金)の予定です。

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-2328-86(フリーコール)

携帯電話から 0570-046-666(有料)

<受付時間 平日 8:00~21:00

土・日・休日 9:00~21:00>